

# 日本語教育部門活動報告 2 – 日本語学習支援サイト RAICHO – (2011年4月～2012年3月)

後藤寛樹

## 1 日本語学習支援サイト RAICHO の概要

「日本語学習支援サイト RAICHO」(以下、「RAICHO サイト」とする、<http://tisc.isc.u-toyama.ac.jp/>)は、富山大学に在籍する留学生の日本語学習を総合的に支援するための一つ的手段として、留学生センター日本語教育部門が開設・運営しているサイトである。サイト開設のねらいは、富山大学で学ぶ留学生の学習を支援するという点にあり、ターゲットを富山大学の留学生に限定することで、サイトに掲載する情報を絞り込み、利用者が必要な情報に容易にアクセスできるようにするという点に重点をおいている(ただし、サイト自体は学内外を問わず利用できる)。インターネットはわれわれの生活に深く浸透し、インターネットを介してありとあらゆる情報にアクセスできるようになったが、インターネット上には膨大な量の情報があり、求める情報を効率よく探し出すためには、この膨大な量の情報の中から必要とするものを取捨選択する能力が必要とされる。しかし、必要な情報の取捨選択はそれほど容易ではなく、留学生が日本語学習のリソースをインターネット上に求めたとしても、自己の学習に有益な情報をうまく選ぶことができなければ、リソースを学習に効率的に生かすことはできない。そこで、本学で学ぶ留学生に必要な情報を一括して提供する Web サイトがあれば、留学生にとっての利便性が高くなるだろうというねらいのもとで開設・運営されているのが、RAICHO サイトである。本稿では、RAICHO サイトの 2011 年度の整備状況について報告し、今後の展望を述べる。

## 2 2011 年度 RAICHO サイト整備状況および利用状況

2011 年度は、「日本語自己学習」の文法のクイズを追加した。その他については、まだ十分なコンテンツ開発が進んでいない。

RAICHO サイトの利用状況については、引き続き学内外から多数の利用の声が寄せられている。特に今年度は、日本語未習で来日した学生が文字の学習にサイトを活用する場面が多く見られた。また、「日本語研修コース」の報告でもふれたコース途中で交通事故に遭った学生も、コース復帰に向けた日本語学習の中で RAICHO サイトを頻繁に利用していた。RAICHO サイト内の「日本語自己学習」コンテンツはユーザ登録をすることによって、利用者が自身の解答履歴を参照できるようになっているが、2011 年 4 月から 2012 年 3 月までの 1 年間に、新たに 265 人がユーザ登録をしてこのコンテンツを利用している。

## 3 今後の展望

RAICHO サイトは開設から約 9 年が経過したが、サイト内のコンテンツの開発、特に「日本語自己学習」コンテンツで提供する練習問題の開発は十分とは言えない状況が続いている。テキストデータを利用した練習問題は、さまざまなものを提供しているが、画像データ、音声データを利用した練習問題の提供が遅れている。その背景には、問題で使用する画像データ、音声データの作成に膨大な時間と労力が必要となるという事情があるが、データ作成を効率的に進める方法を考えるなどして、開発を進めていかなければならない。

また、ここ数年スマートフォンやタブレット PC の普及によって、利用できるツールの幅が大きく広がってきている。統計的データによるものではないが、留学生が所有している携帯電話もほとんど

がスマートフォンになってきている。それにともなって、RAICHO サイトへもパソコンからのアクセスだけでなく、スマートフォンやタブレットPCからのアクセスが増えていくと思われる。現在のRAICHO サイトはパソコンからのアクセスを前提としてデザインされているので、スマートフォンやタブレットPCからのアクセスにも支障のないデザイン、仕様に変えていく必要がある。特に、「日本語自己学習」内のひらがな、カタカナ学習のコンテンツや、「TISC 開発教材」内のコンテンツではFlash 動画を使用しているものが多く、スマートフォンやタブレットPCではこれらが再生できないケースも多いので、改良が必要となる。このように新しいツールの普及により、RAICHO サイトのデザインや機能を変えていかなければならない部分もあるが、こうしたツールは、留学生の日本語習得を支援するのに効果的に利用することも可能である。例えばスマートフォンで利用できるアプリの中にも日本語学習に利用できるものが存在するし、ソーシャルネットワークサービスを利用して日本人とつながり、交流を深めていくことも可能である。ただし、こうしたツールやサービスの存在を知らなければ、あるいは知っていても活用の幅に気づいていなければ、効果的な利用にはつながっていかない。このようなツールやサービスの活用のヒントを「情報提供」コンテンツから提供することにより、留学生の日本語学習を間接的に支援することができると考えられるので、新たな練習問題を提供していくのはもちろんのこと、「情報提供」のページの充実化も進めていく必要があるだろう。

富山大学は3つのキャンパスからなる総合大学であるが、留学生数の違いや留学生の専門分野の違い、キャンパスごとの事情などもあり、3つのキャンパスで同内容の日本語支援を行っていくのは難しいという現状がある。できる限り、同内容の日本語支援を行っていくのが望ましい形ではあるが、一方で、RAICHO サイトを利用することで、各キャンパスで行われる授業では補いきれない部分についての支援を行うことも可能である。ただし、このサイトの管理・運営を担っているのは五福キャンパスにいる留学生センター専任教員であり、他のキャンパスの実情に即したコンテンツの開発は行っていない。特に杉谷キャンパスには日本語・日本事情担当の専任教員もいるので、うまく協力・連携することができれば、このサイトを利用した留学生の日本語学習支援が強化されるのではないかと。

今後も、インターネットを利用したサイトの機能や特長を生かして、留学生の日本語学習支援をさらに進めていけるよう、RAICHO サイトの充実をはかっていきたい。